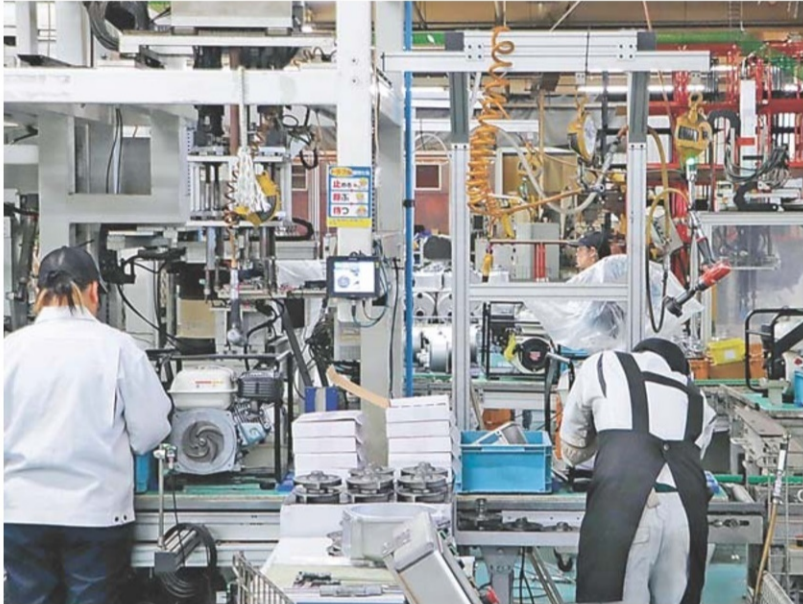


おとくに 工場見学

⑦ 工進本社工場(長岡京市)



エンジン付きポンプを流れ作業で組み立てる従業員
(長岡京市神足・工進本社工場)

世界で活躍 発動機ポンプ

長岡京市で緑化や美化に取り組むボランティアに草刈り機を無償で貸し出したり、災害時に役立つ高圧洗浄機を市に寄付したりと、洛西版に度々登場する地元企業がある。発電機なども手がけるメーカー、工進とは一体？

国道171号沿いに立地する本社工場を訪ねた。新幹線からも目を引く屋上看板のデザインは、9年前に変更されるまで「ポンプは工進」だった。同社広報によると、地元の子どもたちからは親しみを込めて「ポンこう」と略して呼ばれていたという。

工進は戦後間もない1948年に京都市で創業後、長岡京市が発足した72年に移転。創業当初は機械修理などを行っていたが、取引先で「これからはポンプの時代」



国道171号沿いにある工進の本社工場。大きな看板が目印

草刈り機、ポータブル発電 次々と

と諭されたという。創業者の孫にあたる3代目の小原英一社長は「50年、100年たってもなくならないと考えたのでは」と先見性をたたえる。

現在の主力製品は農業用のエンジン付きポンプだ。世界約160カ国に輸出され、大量の水が必要となる中南米の山岳地帯やアフリカの砂金採掘場、中東の水道未整備エリアで活躍している。

世界で支持されるメード・イン・ジャパンのポンプは、国内唯一の生産拠点である本社工場で生み出されている。勤務しているのは事務も合わせ約200人になる。ポンプの部品を造る金型やエンジンも内製化し、組み立てまで行う一貫生産体制に強みを持つ。

現場をのぞくと、ロボットが黙々と作業していた。しばらくして蒸気が立ち上り、成型加工された部品が次々と完成。別棟の組み立てラインに運ばれ、最後は人の手で目で仕上げている。

本社工場内には製品を展示するスペースもあり、新たに参入した草刈り機や発電機などがずらりと並ぶ。持ち運びに便利な発電機はアウトドアやキッチンカーなどの



世界約160カ国に輸出されているエンジン付ポンプ

電源、災害発生時の備えとしても重宝されており、ホームセンターなどで目にする機会も多い。

商品開発に向けた改善にも余念がない。草刈り機は自社開発のエンジンを搭載したものに加え、より手軽に操作できる充電式の拡充に力を注ぐ。

重視してきたのは現場の反応だ。小原さんは「お客様の声なき声はヒットにつながっている」と言い切る。潜在需要や改良点をつかみきつかけになるといい、「お客様に寄り添い、今まで以上に便利な商品やサービスを届けたい」と語る。

(堀内陽平) おわり